

KIT*MIKI

ON PAPER



<https://www.town.miki.lg.jp/kit-miki/>

三木町ふるさと会報紙 年2回発行



解体獅子新書 vol.4 10/22(土)



お祭り担当者からのコメント：地域活性課 俵

今年も町内の諸行事が中止される中、実行委員会ではコロナ禍の大規模イベント開催に挑戦し、当日は多くの人
 今後は、今年の経験を活かし、コロナ禍であっても三木町最大の秋大祭である「獅子たちの里 三木まんて願。」

獅子たちの里三木まんで願。



3年ぶりの開催!! 帰ってきた三木まんで願。

住民が主体となって毎年第4土曜日
10月に開催される三木町全力の秋大祭
「獅子たちの里 三木まんで願。」。

新型コロナウイルス感染症の影響により
令和2、3年度は中止していましたが、
住民の熱い思いから、今年は3年ぶりに
開催されました!

「まんでがん」とは、讃岐の方言で「全部」
という意味で、その名のとおり「三木町
の獅子・歴史・文化・自然・食・ものづくり・
人」といった魅力が『まんでがん』つま
ったお祭りです。

ふるさと住民の皆さんはもうご存じか
と思いますが、**三木町といえば獅子舞!**

地域のお祭りではそれぞれの地域で
代々引き継がれてきた獅子たちが舞を披
露します。

コンコンチキチン コンチキチ ♪ ♪

太鼓と鉦かねの音に合わせて舞う数多の
獅子たち。

お祭りでは町内から集まった獅子達が
華やかな姿と舞で多くの来場者を魅了し
ました。

今年は感染防止対策を 講じながら3年ぶりの開催 となった「三木まんで願。」

コロナ禍ということもあり、開催には
様々な課題がありました。

出演者や来場者の安全を確保するた
め実行委員会で議論を重ね、今年は三
木町の目玉である大獅子4頭も演舞を
せずに展示することで会場を華やかに
彩ってくれました。

また、開催時間を短縮するなど、規
模を縮小しての開催でしたが、26の小
獅子連が躍動感ある獅子舞を披露し、
三木町の秋の風物詩を存分に楽しませ
てくれました。

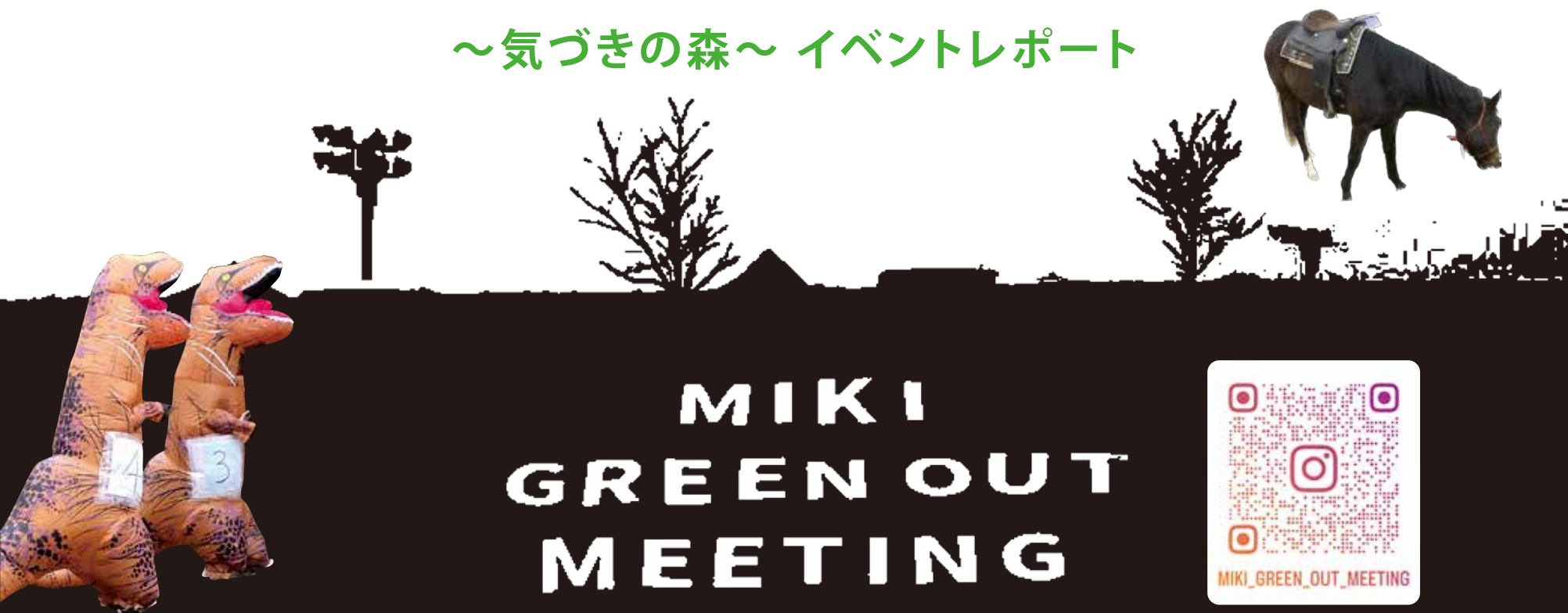
が来場してくれて無事に終えることができました。
を伝統文化や住民の想いと共に、次世代に引き継いでいきたいです。

KIT*MIKI | ON PAPER



12/3(土)・12/4(日)

盛り上がったぞ!! Miki Green Out Meeting ～気づきの森～ イベントレポート



Miki GreenOut Meetingの
Instagramはこちら

時は2022年12月3日・4日。

これから生きることもたちが「気づき」「学び」を体験できるイベント“MikiGreenOutMeeting”が三木町総合運動公園・太古の森にて初開催されました。(会報紙2022年秋号で紹介)

2022開催テーマは「アウトドア」。

おとなも子どもも目一杯ソトアソビを楽しめるとあって、イベントには2日間で約18,000人が来場し、会場にはたくさんの笑顔があふれ、子どもたちは日頃できない体験ワークショップに夢中で取り組んでいました。

嶽山 FlagProject として嶽山掲揚会のメンバーとおおば幼稚園の園児たちでつくったイベント旗が嶽山の頂上で風になびき、来場者の目を引いていました。

紅葉真ただ中の太古の森で行われた恐竜レースは、多くのギャラリーが見守る中、白熱したレースが繰り広げられました。

2日とも各日7回ずつレースが開催され、レース毎に10頭ほどの恐竜たちが決戦の地「太古の森」へ集結。

着ぐるみを着た参加者からは「『最初はどんなものか?』と思ったけど、着てみるとテンション上がって楽しかった」との声があがりました。

貸出しの着ぐるみだけでなく、自ら持参した“マイティラ”で挑む挑戦者たち。

恐竜たちのコミカルな動きに癒しを求めて集う観客たち。

フヨフヨとした肉体に包まれた恐竜と、恐竜の雄姿を見守る観客…会場は大いに盛り上げりをみせ、大成功となりました。

三木町の新しい名物として、これからが楽しいイベントです。

地域
おこし
協力隊

よっしーの地域おこし活動をご紹介します！

地域おこし協力隊の芳田裕美さん（愛称：よっしー）が三木町に着任して約1年半。三木町の地域活性化のため、様々な活動を行ってくれています。会報紙でおなじみとなってきたコーナー、これまでのよっしーの活動をご紹介します。

三木町地域おこし協力隊
公式 Instagram
@miki_kagawa_chiikiokoshi



空き家活用 ～ TSUMIKI HOUSE プロジェクト～

TSUMIKI HOUSE

空き家を利用して、「移住者ネットワークの拠点」と「三木町の暮らしが体験できる場所」を整備する、TSUMIKI HOUSE プロジェクトを計画をしています。『三木町は、ほどよい田舎で暮らしやすい! (芳田)』その魅力を伝えるためには、移住希望者に一度三木町に来てもらって、暮らしが体験できるような場所が必要だと思いました。TSUMIKI HOUSE では、交流会やワークショップなどを開催予定で、地域の方と交流できる場を作り、三木町と繋がるきっかけを作ります。



ちょっと気になる『TSUMIKI (つみき)』

移住者ネットワーク「TSUMIKI」は、三木町に移住を考えている人や移住した人が、地域の生の声を聞いたり、困りごとを気軽に相談できる場を作ることとを目的とした、移住者目線で町の暮らしや情報を発信するためのネットワークです。「TSUMIKI」は、「繋ぐ三木町」と玩具の「積み木」から名付けました。いろいろな人が集まる地域で、「人と人」「人と地域」を繋ぎ、関係を積み重ねて地域を作っていくという想いを込めています。

はじめての「獅子たちの里 三木まんで願。」

10月、3年ぶりに「獅子たちの里 三木まんで願。」が開催されました。のぼりの組み立てや設置、駐車スペースのライン引きなど準備が進むにつれて楽しみも増し、当日は撮影担当としてカメラを持って会場をまわりました。特に、間近で見る獅子舞にはとても感動しました!!この写真は、広報みきの表紙になりました。



地域交流 ～小菰～

ディスカバー農山漁村の宝 優秀賞! 小菰の取組

三木町南部自然豊かな小菰では、季節によって様々な楽しみがあります。秋はお米だけでなく、栗や柿、キャベツ、白菜、ブロッコリーなどの野菜、そして紅葉。小菰の農家民宿や農村レストランの運営など、地域資源を活かした様々な取組は、**2022年11月に農林水産省の「ディスカバー農山漁村の宝」で優秀賞にも選ばれました。**私も少しずつ小菰のことを知りながら、色々な体験をさせていただいています。野菜作りも始めました。



こみの古代米プロジェクト 2022

地域のにぎわい作りのため、古代米の一つ「緑米」の栽培・商品化に取り組んでいます。緑米はもち米の一種で、国内では生産量が少なく幻の古代米と言われています。11月、緑米を無事に収穫することができました。地域の方に教わりながら、三木高校の生徒さんと一緒に稲刈りを行いました。実りの秋を楽しんでもらいたいということで、地域の方と一緒に「こみの収穫祭 2022～体験マルシェ」を開催しました。古代米玄米の餅つき、かまどご飯作り、ピザ焼き、野菜の収穫、ヤギとのふれあいなど、小菰ならではの様々な体験を楽しめる一日に。小雨でしたが、参加者、地域の皆様と楽しい時間を作ることができました。

ヤギの引っ越し、成長

2022年秋号で紹介したヤギ達の続報!!

小菰のカフェのそばに、新しくヤギのお家ができました。地域の方の手作りです。「子ヤギが生まれたときのために」とのことですが、ちょっと気が早い?!みるくちゃんとごえもんが新しいお家に引っ越しすると、カフェからも見えるのでお客さんにも可愛がってもらっています。

少し離れた畑に暮らしていたラントとおこめくんは、みるくちゃんとごえもんがいたお家に移りました。冬の間、小菰は雪が積もったりするので、目が届くところにいる方が安心なのです。移ったばかりの時は何度も脱走して大変でした。

会いにきてめえ〜♪

みるくちゃんとごえもん
二匹はとっても仲良し。



おこめくんは、えさを独り占めしようとするので、レディファーストな男前になってほしいです。ラントは少しふっくらとしてきました。おこめくんがラントに愛想つかされないかと余計な心配をしています。

こみのロマン

普段不足しがちな栄養素が多く含まれていて、白米に混ぜて炊くともちもち、プチプチしてごはんがより美味しくなりました。こみのロマンは、小菰のカフェやネットショップで購入することができます。



昔から継承してきた「さぬきの当たり前」 ～全国的にはとても珍しい伝統技術～



伝統から現代へ
挑戦し続ける白山 CONCEPT

“白山 CONCEPT” は、三木町で活躍する「デザイナー・家具職人・桶職人・木工作家」の 4 名から構成されたチームによるプロジェクトです。

昔ながらの木桶の伝統工芸の技術を活かしながら、現代の生活にあった新しい商品の開発などを通じて、新たなライフスタイルの創造を目的に活動しています。

そして、2022 年 10 月 14 日に、白山 CONCEPT が JapanCraft21 と一般社団法人アジア・ソサエティ・ジャパンが共同で開催している日本伝統工芸再生コンテストにおいて、クラフト・リーダー賞に選出され表彰されました。

日本伝統工芸再生コンテストは、工芸を 21 世紀に再生させるプロジェクトを見つけるための「アイデアコンテスト」で、優れたアイデア、才能、実績と情熱を持つ卓越した 10 名（組）をクラフト・リーダーとして選出しているコンテストです。

世界に誇れる日本の伝統文化や技術を後世に残していくために、日本の伝統工芸に携わるクラフト・リーダーの活躍が期待されます。

今回は、白山 CONCEPT のメンバーに貴重なお話を聞かせていただきました。

PICK
UP!
INTERVIEW
インタビュー



ー “白山 CONCEPT”について教えてください

私たちが今最も情熱を傾ける木桶は、第二次世界大戦前の日本では、風呂場の桶やご飯を入れる「おひつ」などの形で、一般家庭に身近に存在するものでした。しかし、西洋的な建築手法が主流になり、炊飯ジャーなどの電子機器が普及する中で、木桶の需要は激減し、香川県にもともと数十件あった木桶の製造会社は、今は私たちを含め 2 軒、四国内でも 4 軒までに減ってしまいました。

しかし、私たちはこうした状況の原因を「時代の変化」だけでは考えていません。むしろ、「桶」を「桶」としてしか考えなかった、今までの伝統工芸職人の発想の狭さも課題だったのではないかと思います。

木桶の技術は、おひつや風呂桶以外にも、もっとさまざまな生活道具（ライフツール）に活かせる可能性があるのではないか。そうした思いから、本プロジェクトを立ち上げました。

ー 目指す PROJECT とは？

私たちが目指すのは、テレビ・冷蔵庫・洗濯機あるいはテーブルや本棚のように、「一家に一台以上必ずある」生活道具を、木桶の技術を活かしてつくことです。それを通じて、現代の生活シーンにおける木工技術製品の新たな伝統を創造していきたいと考えています。

また、この取組を通してもうひとつ目指しているのは、日本の林業の活性化に貢献することです。本プロジェクトでは、木製の製品をつくることにより国産材の需要を増やしつつ、通常は廃棄処分されるような木材の部分を特に積極的に活用することにより、地球環境の保全、そしてSDGsの達成にも貢献していきたいと考えています。



ちょっと気になる『さぬきの木桶』



さぬきの桶の木材には、「辺材」を使います。辺材とは丸太の表皮に近い淡い色をした部分のことで、その内側にある中央部の濃い色をした部分は心材といいます。

辺材は、加工しにくく水にも弱い性質で、通常桶を作る際には心材を使い、辺材は捨てられる部分として認識されています。

しかし、辺材で作られたさぬきの桶は、軽く、他の心材を使った物に比べると臭いが少なく、食材などに臭いが移らないという優れた特徴があります。どうしてさぬきの桶だけ辺材を使うのか、いわれはわからないとのこと。通常では割り箸やチップにしか変換できない辺材を利用して作るさぬきの桶は、限りある資源を余すことのない昨今話題となっている SDGs のはしりと言えるのではないのでしょうか。

今後も、伝統の桶だけでなく、お皿やボウル、器など「今」に合わせた使いやすく新しい「物」が続々と登場予定です。

大好評！ 三木のふるさと納税返礼品

令和3年度の寄附額は7億円を突破しました。遠く離れた場所からふるさと三木町を応援していただきありがとうございます。

現在、三木町で選べるふるさと納税の返礼品の中には、三木町内の施設で体験できるチケットなどがあります。

今回は実際に三木町に訪れて体験できる返礼品をピックアップしてご紹介します。是非三木町を訪れた際に、お得に体験してみてください。



お申込みはこちらから



ふるさと納税町ホームページ

PICK UP!

■ レストランまんじゃーれの無料ペアディナーチケット



三木町近郊農家さんの新鮮野菜、香川県産のお肉、お魚を使用した料理をゆったりと流れる時間の中でお召し上がりいただきます。

【内容】フルコースディナー2名様
(オリーブ牛ステーキがメイン)

■ サンサン館みき講座無料券



開講している約220講座の中から、好きな講座を選んで受講できるお得な無料券です。

【内容】3回分無料券または5回分無料券

■ トレスタ白山 スポーツ施設無料券(ペア)



雄大な自然に囲まれたリゾート施設。

【内容】

- ①～③のいずれか一つを選択できます。
- ①ペア屋外レジャープール無料入園券
- ②ペアアイスアリーナ無料スケート利用券(貸靴料金含む)
- ③テニスコート利用券(1面・2時間:9～17時の間)

■ ☆FIVESTAR FITNESS☆ 高気圧酸素ボックス



水深3mの世界でリラクゼーション。体を、心を酸素が癒します。BOX内はTV、冷暖房完備しております。

【内容】

- 60分:1回お試し
- または60分:4回チケット

4月3日(月)からKIT*MIKIホームページにて応募開始

三木の「ええもん」もらえるキャンペーン



「医食同源」の食提案『ラーメン庵 福一本陣』の烏骨鶏餃子をプレゼント!

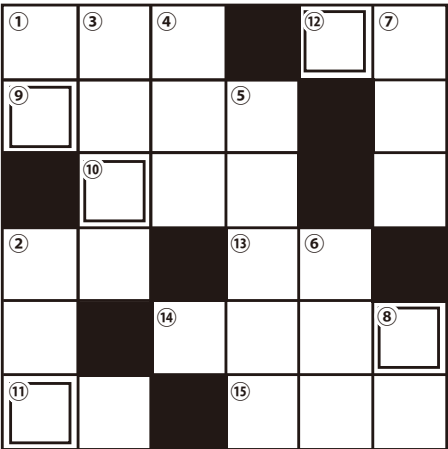
第13弾(2023年4月分)は、『ラーメン庵 福一本陣』の烏骨鶏餃子をプレゼント。今回は高級薬鶏『烏骨鶏』を使用した餃子をご用意しました。技術30年、開発3年の時をかけ、完成されたこの餃子は、テレビでも紹介されたことのある一品です。「変わらぬために変わり続ける」職人の技術を是非感じてください。

編集後記 (スミダ)

ふるさと住民の皆様、こんにちは。今回もふるさと会報紙を最後まで読んでいただきありがとうございます。

令和4年4月1日から民法改正され、成年年齢が20歳から18歳に引き下げられた最初の1月、三木町では「成人式」から「二十歳(はたち)の集い」が挙行された頃に、この編集後記を書いています。成人式というと、三木町ではもともと夏に行われていて、ドレスやスーツ、浴衣などで参加していました。ここ数年で開催月が1月へと変わり、この度名称も変更になったので、三木町を見てきた私としては懐かしさや驚きでなんだか感慨深いものがあります。変わらないと思っていても、実は色々変わっていくものもたくさんあるのでしょう。令和4年の三木町でも会報紙でご紹介したように、閉校跡地での苺栽培、獅子たちの里まんで願。の復活や、太古の森での新しいイベントなど、変わらないものと変化していくもので盛りだくさんでした。今年の令和5年はどんな三木町になっていくのでしょうか。是非、ふるさと住民票で繋がっている皆様と一緒に、三木町を盛り上げていきたいと思います。

KIT*MIKIサイト内のエントリーフォームにパズルの答えをご入力・ご応募ください。



- 【タテのカギ】
- ①〇〇も歩けば棒に当たる
 - ②物事を避けてぶつからないようにすること
 - ③絹を平織りにして作った織物
 - ④外見はムカデに似ており、釣のえさに用いる
 - ⑤学問や技芸などを学ぶこと
 - ⑥「町」を英語で
 - ⑦〇〇〇が鷹を生む
 - ⑧夏の風物詩、〇〇だめし

を並び替えてできる言葉はなんでしょう?

ヒント:香川県のオリジナルイチゴ

□ □ □ □ □

エントリーフォームはこちら

こちらのQRコードからご覧いただけます。
<https://www.town.miki.lg.jp/kit-miki/form2/>
 (はがきでの応募)下記住所宛に、お名前・ご住所・電話番号・パズルの答えを明記の上ご応募ください。

- 【ヨコのカギ】
- ①草本性で園芸学では野菜に分類され、甘く赤い食物
 - ②金属製の容器。アルミ〇〇、スチール〇〇
 - ③夜道で人間の歩行を阻む、姿の見えない壁のような妖怪
 - ④主な、主要な
 - ⑤知能が高く、言語を有し、社会生活を営む動物
 - ⑥人家がある程度集まっている所
 - ⑦南の反対語
 - ⑧〇〇〇〇機関車
 - ⑨ケイ酸塩鉱物の総称で、「きらら」「きら」